

新潟県新潟市

# CADスクールりゅう

～ひとり一人にあった講習とは何かを考える～

建築CAD検定試験では、毎回優秀な成績を収めている本スクール。その取り組みやスタイルなど、生徒ひとり一人に対する充分な思い入れがあちこちに垣間見ることができ、教育機関としてのあり方とは強く感じさせてくれる学校でした。その取り組みをほんの一部ご紹介してまいります。



CAD講座 講師 田村 亮 先生

CADスクールを始められた経緯は？

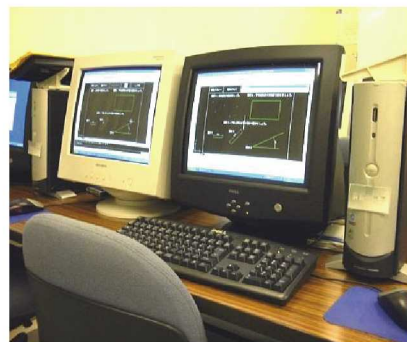
このスクールを運営している会社もともとCADを使用した土木、建築および設備図面の作成業務をしておりますので、せっかくCADが身近にあるわけですので、何か他に社会の役に立てないかという思いから、このスクールがスタートしました。

それほど規模の大きなスクールではないですが、その分マンツーマン指導に徹することができます、生徒それぞれのレベルにあった指導ができるというメリットもあります。いかに生徒が効率よく知識と技術を習得できるかを考え、いろいろなアイデアを実際の授業に取り入れています。

授業にはどのような特徴がありますか？

下の写真は、教室で生徒が座る席ですが、画面が二つあるのが分かるかと思えます。

右側のモニターが生徒の操作が映し出されるモニターで、左側は講師のパソコン画面と同じものが映し出されるモニターです。

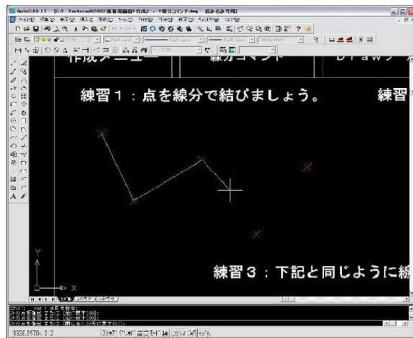


日本一の大河・信濃川が日本海と出会う、豊かな自然に育まれた湊町「新潟市」。CADスクールりゅうは、大学などの教育機関が点在するこの町の西部に位置しています。少人数制にこだわり、生徒ひとり一人の目標を学校の目標として捉え、教育に取り組んでおられます。

口頭で操作方法を一つひとつ説明していくより、直接目に訴えることで、とても分かりやすくまた効率よく授業を進めていくことができます。

また、CADを練習するにあたって、何もない真っ暗な画面からではなかなか覚えることが難しいため、本校では次の写真のように練習画面を用意し、左側の講師用モニターの動作を見ながら、練習用画面を操作していきます。

練習用の一つひとつのコマンドすべてにこの練習画面を用意していますので、CADの操作の基本的なマスターにとっても効果的なんです。



実際の画面の様子。練習用画面を繰り返し操作していくことで、CADの基本的な機能や操作をマスターしていきます。

生徒さんは、どのような職業の方が多いですか？

就労されている生徒のほか、ハローワークからの委託訓練生を受け入れたコースもあり、全体的には離職された方々が非常に多いですね。年齢は20代から60代と幅広く、ある年齢に集中しているということもありません。

それだけ生徒の年齢層が広いと、授業を進める上でご苦労はありませんか？

はい。確かにそういった問題はどのコースでも出てきますね。したがって、その差ができるだけ出ないようにするという点でも、先ほどのモニターを使用した授業や、オリジナルの練習画面は大いに役立っています。それでもまだ、習得の早さに個人差が出ますので、その場合はその個々のレベルにあった課題を授業時間に与え、練習してもらっています。

建築CAD検定試験を受験するようになったきっかけは？

検定試験を導入して3年目になりますが、

当時も再就職を望む生徒が非常に多かったため、就職の際「CADを学んでいた」という事実ではなく「資格を持っています」と胸を張って就職活動に取り組んでいただきたかったため、生徒に推奨しました。

また「資格を取るんだ」という目標を持つことで、本人の授業に取り組む姿勢がとて大きく変わってくるという点も理由のひとつでした。

「建築CAD検定試験対策コース」が開講するそうですか？

はい。本校ではさまざまなCADのコースを設置していますが、建築CAD検定試験を目標にしている生徒も非常に多いため、せっかく自分の生徒たちが試験にチャレンジしようとしているのであれば、学校としても全面的にバックアップしようということでスタートしました。

毎回試験の直前になると開講するこの「対策講座」では、過去問題を中心とにか多く図面を描き起こす練習と、試験の採点チェックポイントなどを参考に、合格するための「コツ」について学び、検定試験に備えています。

このような学校としてのしっかりとした支援体制が、毎回全国平均を大きく上回る合格率を残しているのだと思います。

カリキュラムを拝見するとCADの実技指導だけでなく、概論にも力を入れてられるようですね。

そうですね。当然就職ということ視野に入れた場合、CADの技術だけでは実務になかなかついていけません。建築についての知識をしっかり身につけることはとても重要なのです。

したがって建築用語から始まり、構造、法規のほか、さまざまなことをCAD実技以外で学びます。そしてCADで描く図面をステップアップしていくタイミングにおいて随時概論を交えていき、建築について理解しながらCADを学んでいきます。(表1)

何かオリジナルのテキストはありますか？

オリジナルテキストとまではいきませんが、図面を描くにあたって「手順書」というものを作り、それを参考に練習をしていきます。

例えば木造「平面図」で言えば8つの手順があり、どのような流れ(手順)で図面を書き上げていくのかを、生徒に分かりやすいようまとめています。

この「手順書」を使用し、木造図面制作



授業のひとつコマ。生徒ひとり一人が自分の目標を持ち、真剣に取り組んでいる姿が印象的。

←CADスクールりゅうのホームページ (http://www.ucsr.org/)

に関して理解を深めていただいた後「RC」図面を生徒一人で描いていただきます。それは最初から最後まで講師陣の指導のままに操作を覚えるよりも、そこから一歩踏み出し、少し悩みながらも、一人で取り組むことで理解度も上がり、また大きな自信にもなると考えるからです。

さて、就職状況はいかがですか？

本校の卒業生に対しては、企業から非常に高い評価をいただいております。CADオペレーターの求人としては正社員と派遣社員のほぼこの2種類に分けられます。

派遣社員で就職する場合でも、会社にその実力を認められそのまま社員になるケースが多く、本校としても自信を持って生徒たちを送り出しています。

丁寧に答えてくれます。私が受講しているクラスは15人ですが、個人レッスンのように内容が濃いんです。同時に建築の基本も学んでいます。図面を描いてみたいと思っていても、どこからはじめて良いのか分からないでいた私には、とても充実した時間を過ごさせています。

学校としての今後の目標があれば教えてください。

「生徒ひとり一人に対し親身になって考え、いかに満足していただけるか」。これは今までも、そしてこれからも変わりません。

本校はそれほど大きな規模でないため、生徒の多くは口コミで入学してきます。それは言い換えれば私たちの誇りでもあります。生徒に対しさまざまな相談も交え親身に接しているから、生徒から生徒への輪が広がるんです。

この喜びを励みにし、これからもこだわっていきたいですね。

～実際に受講生の方のコメントがいただけましたのでご紹介します～



受講生 寺尾 亜紀子さん

私は再就職の選択肢を広げるためにAutoCADの講習を受講しています。大変親切丁寧な講習なので、私のような全くの初心者でも、心配なくついて行けています。

この講習の進め方だと、後で忘れてたりすることが少なく効率的だと思います。講師の方々もとても辛抱強く、どんな質問にも

あとがき

田村先生は以前、CAD図面を描く技術畑におられたそうです。しかし日頃仕事をする中で「人の役に立ちたい、人に喜んでいただく仕事がしたい」という気持ちがずっとあったそうです。それを叶えるためには自分に何ができるかと考えたとき「CADを生徒に教えること」にたどり着いたそうです。お話を伺っていても、先生のそのやさしい笑顔の奥からとても熱い思いが感じ取れました。

これからも、数多くの生徒と出会い、その出会いを大切にされていかれるものと感じた訪問でした。

